

2026.4.16 (木)  
第 39 回例会  
(通算3848回)

## 2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛  
副 会 長 池田 一己  
幹 事 横田 英喜  
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度  
国際ロータリーテーマ

『よいことのために手を取りあおう』  
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度  
R1 会長 フランチェスコ・アレツォ  
第 2500 地区ガバナー  
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム IM・クラブリーダーシップラーニングセミナーに参加して (理事会・次年度理事会)

次週例会 夜間例会「親睦活動委員による釧路クイズ大会」(親睦活動委員会)

- ロータリーソング：我らの生業      ■ソングリーダー：渡部 哲大君
- 会員数      104 名
- ビジター
- ゲスト

### 会長の時間 荒井 剛会長



皆さま、こんにちは。4月4日に開かれた観光国際交流センターで開催されたIM、そして4月12日に旭川で開かれたCLLS、それぞれに20名以上の皆さんにご参加いただきました。本当にありがとうございました。20人くらいの規模で行きますと、ほかのクラブとも違いを見せつけられるのではないかと、改めて感謝申し上げます。

今日は、IMに参加して、およびCLLSに参加しての内容については、このあと参加者からご報告があると思いますので、インターシティミーティング(IM)自体の歴史を少し話させていただければと思います。

「IM」と呼ばれておりますが、これは略称で、インターシティミーティング(Intercity Meeting)と呼ばれています。昔は「ICJF」「IGF」と呼ばれていたようですが、これを日本語で言うと都市連合会と訳されているみたいです。規模としては、クラブの例会よりも大きく、地区大会よりも小さく、クラブ同士の交流でロータリーの情報を深める、また親睦を深めるために始まったと言われております。

「IM」と呼ばれておりますが、これは略称で、インターシティミーティング(Intercity Meeting)と呼ばれています。昔は「ICJF」「IGF」と呼ばれていたようですが、これを日本語で言うと都市連合会と訳されているみたいです。規模としては、クラブの例会よりも大きく、地区大会よりも小さく、クラブ同士の交流でロータリーの情報を深める、また親睦を深めるために始まったと言われております。

世界で初めてのIMと言われているのは1914年に遡ります。最初に創立されたのはシカゴクラブと皆さんご存じと思いますが、2番目に創立されたクラブは

サンフランシスコロータリークラブ、3つ目がオークランドロータリークラブ。オークランドとサンフランシスコは対岸なので隣同士です。その隣同士のクラブが集まって親睦を深めたのがインターシティミーティングの最初だと聞いております。

日本ではどうなのかというと、1920年に東京ロータリークラブができて、そのあと、東京、大阪、日本全国でいくつか出来上がったときに、1926年に日本で創立されていたロータリークラブが全部集まったのが最初と言われております。

このインターシティミーティングはもともとRIの正式行事でしたが、途中から正式行事から外れて、開催するかしないかはガバナーの裁量で決める、地区の裁量で決めるとなっております。ここ2500地区では、例年行われています。特に第7分区では活発に行われていると思います。

このIMもそうですが、私が入会したころ、当時はPETSと言われていました。今でもそうですが英語の略字が多いのですが、復習がてらいくつかご紹介したいと思います。

これは名前が変わった「PELS(ペルス)」、これは会長になる人のセミナーのことで、英語ではPresident-Elect Learning Seminarです。先日、みなさんに参加していただきました「CLLS」、これは昔でいう地区協議会ですが、これを英語で言うとクラブリーダーシップラーニングセミナー、クラブリーダーですので出席義務者の対象になっているのは各委員会の委員長・副委員長までですから、クラブリーダーシッ

プランニングセミナーとされています。

それ以外にも二文字でさえ、これはどういう意味なのだろうというのがあります。ロータリーで頻繁に使われている単語があります。例えば、「DG」。これは複数の意味があると思いますが、District Governor です。これはまさにガバナーですね。そして、日本語でパストガバナーとよく言いますが、DGの前にPを付けてパスト、「PDG」です。ペーパーなどでPDGと書かれているのはパストガバナーのことです。単なるDGはガバナーのことです。

DGのもうひとつの意味は、District Grant です。グラントは補助金という意味なので地区補助金のことです、「DG」と使います。

同じように、補助金という意味で今年も行います。去年もやりましたグローバル補助金は、GlobalのGを取って「GG」もグローバル補助金を指します。

では、「PP」はわかりますか。はい、パストプレゼントという意味でPPと使われることもありますし、PolioPlus（ポリオプラス）ということでも使われることもあります。

いろいろな略称がありますが、このような略称がどういう意味なのかを一覧表にして辞典にまとめているのが、どこかの地区のホームページに載っています。もし、見る機会があれば見てください。

最後に、別の略語のクイズを出したいと思います。「MBS」、わかりますか。これは、ムハンマド・ビン・サルマンです。サウジアラビアの皇太子および首相の略称です。これは、私が以前にサウジアラビアに行った時の研修に、「この方がキーパーソンですよ。このMBSを覚えてくださいね」と話していただきましたので、復習の意味でロータリーの略字も大事ですが、MBSも覚えてください。

以上で、今日の会長あいさつを終わります。

## 幹事報告 横田 英喜幹事

第7分区の平澤ガバナー補佐およびIM実行委員会の富樫実行委員長より、「IMの開催に際して」というお礼の文書が事務局に届いております。これをホワイトボードに掲示しております。ご確認いただければと思います。

米山記念奨学会のマンスリーニュースである「ハイライト米山」の案内が届いております。それも、ホワイトボードに掲示しております。その中の情報によると、今年度の米山の奨学生は969名となっております。寄付の状況では、「寄付は3月時点で前年より1.8パーセント少ないです。1,910万円が少ないです」とあって、寄付をお願いしますという案内が出ておりました。ちなみに、3月中で1,000万円を超える大口の寄付が3件ありました。単月で寄付額が7,000万円を超えています。という情報が載っていますので

ご覧いただければと思います。

## ■本日のプログラム■ IM・CLLSに参加して

### ◆IMに参加して

藤原 工会員



皆さま、お疲れ様です。4月4日のIMに私も参加させていただきました。参加させていただきましたが、案内に「3時から開所」と書いておりました。見事、3時の10分前から皆さまが集まり始めたのですが、実は、開始は3時半からでしたので皆さんには楽しく30分程お待ちいただいたのです。

私は3時登録開始が分かっておりましたので、2時半に自宅を出ました。自宅が双葉町にありますので、歩いたら3時には着くだろうと思ったのですが、とても寒くてタクシーに乗ったら2時40分に到着しました。

到着して、ゆっくりしようかと思ったら、今年度の副幹事がお待ちになっているのかと思ったら、横田幹事がトコトコ来て「藤原君、すみません。副幹事の二人のうち1人が厚岸に転勤し、もう1人が急に発熱で来られない。副幹事代行役をやってくれないか」ということから、私の今回のIMがスタートしました。中身については、このあと5人からお話をいただけるということですから、内容はお聞きいただきたいと思います。

ひとつ思ったことは、私は中標津に所属させていただいたときに、中標津がホストクラブとしてのIM実行委員会に入って、幹事をさせていただいたことがあります。ぜんぜん規模感が違って、中標津では東陽グランドホテルで行って、人数は全クラブが集まって50人くらいです。

100名以上が集まって話をされる機会になっているというのは、私がいつも思うのですが、自分の会社の中にいて自分の会社のことだけを知るといふより、いろいろな会社の経営者さんからいろんな意見を聞く、そして、クラブを超えていろいろな方の話を聞けるのは大変参考になった次第です。

席が特殊だったのです。「釧路ロータリークラブはここ」ではなくて、「釧路ロータリークラブの親睦委員会の方と北ロータリークラブの親睦委員会の方で1テーブル」というテーブル配置だったのです。何があるのかなと思っていたら、何もなくて終わるということでIMは終了しています。

ということで、次の方にバトンを渡させていただきました。ありがとうございました。

#### ◆CLLSに参加して 市橋 多佳丞次年度副会長



みなさま、こんにちは。本来でしたら、この場は、工藤会長エレクトから皆さまにお礼とご挨拶をさせていただくところなのですが、本日は

所用により欠席となってしまいましたので、お手紙を預かっておりますので、私から皆さまに謹んでご報告をさせていただければと思います。

CLLS報告 本日の例会は、本来であれば出席すべき立場でございますが、所用のため出席ができません。大変申し訳ございません。

今回のCLLSは、旭川という遠方での開催にも関わらず26名もの多くの皆さまにご参加をいただき、心より感謝を申し上げます。

CLLSや地区大会では本会議・分科会が大切な事業であることは言うまでもありません。しかし、私が日頃より大切だと感じているのは、その前日に行われる釧路ナイトです。酒を酌み交わし、大いに語り合う、その時間こそが釧路ロータリークラブの血となり肉となり、私たちの結束を強める源だと思っております。

今回も大いに語り合い、大変有意義な時間を過ごすことができました。これもひとえに段取りを整えてくださった市橋副会長、八幡幹事、そして初参加にも関わらず司会を務めてくれた倉見副幹事、渡部副幹事のおかげであり、深く感謝申し上げます。

次回の地区大会は10月9日・10日です。釧路の90周年行事の翌週となりますが、多くの皆さまのご参加をお願い申し上げます。

今回は誠にありがとうございました。 会長  
エレクト 工藤 彦夫

というお手紙をお預かりさせていただきました。

あと、私からになります、重ね重ねになりますが、多くの皆さまにご参加をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。

皆さま方のご紹介を、荒井会長におかれましてはガバナー・ミニというお立場、そして、西村さんは第7分区のガバナー補佐というお立場、その他、多くの出向者がそのサポートに付いていただき、皆さまがご活躍されている姿を見ることができて、ホントに心強く思いました。誇りに思うこともできました。

いよいよ2026-2027年度もこれから始まるのだな

という気持ちにもなりましたし、これから私も副会長として頑張っていけないと襟を正した次第であります。

講演の中では、「しっかり目標を立てて頑張っていけないといけないよ」というありがたい話を聞いたのですけれども、その講演の後半では「こういうことは釧路クラブの小船井さんに聞くといいです。話が一番早いから」と連呼されておりまして、小船井さんは本当にすごい方なのだなと感じさせていただきました。

私のあとには、渡部君、倉見君、八幡君の3名の発言が続きます。皆さま、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

#### 渡部 哲大次年度副幹事



皆さま、お疲れさまです。先週の土曜日・日曜日にCLLSに参加をさせていただきました。私は、職業柄あまり出張はないのですけれど

も、今回、たまたまCLLSの前に東京に年に1度あるかないかの出張があって、羽田空港から旭川空港に移動する形で旭川入りとなりました。旭川空港に行くのは初めてだったので、フードコートやお土産物屋さんを回ったのですが、旭川での繁盛店の『山頭火』と『梅光軒』のラーメン屋さんがフードコートにふたつ並んで出店されていたので、ラーメン好きの私としてはガマンできずに、ラーメン2杯を食べてから釧路ナイトに望ませていただきました。

釧路ナイトに関しては、初めての出物ということで多くの先輩がいる中で、倉見さんと協力して司会をさせていただきました。つたない司会だったと思いますが、先輩の皆さんは温かく迎えていただきまして、本当に楽しい釧路ナイトができたのではないかと、いい釧路ナイトができたと思います。

翌日のCLLSは、先ほど市橋さんからお話がありましたが、地区のすごく偉い方がお話をされていましたが、「分からないことは全部、小船井さんに聞いてください」ということで、1時間のセミナーの中で小船井さんの名前が5回くらい出ていたのではないかと、思います。

次年度に向けて貴重な学びの機会となりました。以上でございます。ありがとうございました。

## 倉見 悠介次年度副幹事



お疲れさまです。倉見です。いま、渡部さんからありましたが、私も初めて旭川にまで行かせていただきました。旭川

に行くことが初めて

でしたが、ロータリーで行くのも初めてでした。先ほど、渡部さんはラーメンを2杯食べてから釧路ナイトに、と言っていました。釧路ナイトには続きがありまして、二次会のあと、次年度三役と愉快的仲間たちで焼肉に行っています。そのあと、ラーメンも食べています。渡部さんは1日にラーメン3杯を食べているのです。ドンダケ食べるんだ！という話です。

本編で、意識して聞いていて気になったことがふたつあります。ひとつは、ガバナーエレクトの活動方針が「親睦から始まる持続可能な奉仕。原点回帰でロータリーを楽しもう」でした。いま、親睦委員会をやらせていただいている、夜間例会にも参加させていただいています。

原点回帰と言われると、私は入って間もないので今が原点なので回帰するところがないのです。とても楽しめたなーと思っています。中では、小船井さんの名前が出てきたのは事実です。

64クラブ、700名くらいが星野リゾート『OMO7』というホテルに集まって異様な光景だったのです。参加された方は感じていると思いますけど、朝はホテルの入り口に一般客の周りにスーツ姿がワラワラといっていて、みんなが写真を撮りたいので寒い入り口で待っています。30分くらい外で待っていただきましてありがとうございます。そのような光景で、みなさんが同じ方向を向いて「行動推進計画」で意識を合わせる機会として良かったと思います。

あとは、工藤さんのご配慮で、午前中で開放していただいたので、私は札幌まで戻って回転寿司で一杯やって、翌日に釧路に戻るという原点ではないのですがロータリーを楽しめた二日間だったと思います。

もちろん、次年度への意気込みを新たにしたところでもあります。ありがとうございました。

## 八幡 好洋次年度幹事



次年度幹事予定者の八幡です。遠い旭川まで26名の皆さまにご参加いただきまして誠にありがとうございました。

遠い所でしたので、早めにホテルを取ろうと思って20室を確保して

いたのです。20室で足りる・足りない、の話もあったのですが26名の方にご参加いただいて、嬉しく思っております。

私たちは、少し早めに入って先輩のお出迎えをしようと思い、3時くらいには到着していたのです。時間があるので「次年度の予算の打ち合わせでもしよう」となり、会長・副会長と3人で打ち合わせをしていたら、後ろのほうで婚活パーティが始まったのです。僕らは真面目な話をしている時に、「じゃ、自己紹介からどうぞ」みたいな話が出てきて、こんな所でそんなことするのか、がありました。

初日は土曜日で通常は、会長・幹事は地区の懇親会があるのでそれに参加して、途中から合流するのが流れです。今年はガバナーの考えなのか、流れが違って、前日の懇親会がなくて、会長・幹事はそのままの懇親会に最初から参加できる流れでしたから、最初からみなさんとご一緒できていい流れができたと感じています。

一次会は非常に楽しく盛り上がって、もともと副幹事の倉見さんが選んでいた店があったのですが、会長が「こっちの店もよさそう。焼き鳥が美味しいぞ」となって、変えていただいたのです。焼き鳥がメインで行ったのに焼き鳥が出て来なかった、というオチがあって、とてもいい会になりました。

二次会にも参加させていただきました。CLLSの前の3月にPELSがあって、僕と会長が参加しましたが、そのとき参加された地区の皆さんと「二次会の会場を探そう」と夜の旭川の街を徘徊したのです。このビルから見よう、ビルの上から順に下りながら店を「すみません」とのぞいて確認したのです。僕は正直、1軒目くらいでいいのではと思っていたのですが、先輩たちは「もっといい店があるはずだ、隣のビルにも行ってみよう」となって、そこで工藤さんの謎の勘が働いて「この6階がいいぞ」というのです。たまたまエレベーターに乗ろうとしていたら出勤の女性が来て、その女性も6階だったのです。その店の女性と分かって「感じがいいね」ということからこの店に決まったのです。偶然なのですが、そんな流れがありました。

二次会も大変盛り上がって、みなさんには楽しんでいただけたのではないかと考えています。このように外に出たときに、いろいろな方と話せるのは、毎週の例会や夜間例会とは違う形で話ができ、いい時間だったと思います。

翌日、日曜日が本番なのですが、山本ガバナーの話がありました。親睦を大事にされていて、会自体もコンパクトにされていて、あれもこれもとなって長くなってしまうよりは、パッパッパッとテンポよく進んでいました。3月のPELSの時もそうだったのですが、早く終わって、早く帰れるように考えていただい

て、今回も午後から分科会がありました。これも比較的コンパクトに終わりました。僕と会長は最後まで参加して帰りましたが、釧路に到着したのが6時半でした。遠い釧路からの参加の皆さんが無事にお帰りいただいている、とてもいい流れの会で終わったなど感じております。

10月には地区大会がありますので、多くの皆さんにご参加いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

### 本日のニコニコ献金

- 舟木 博君 土佐一國参り（冬）なんとか歩きました。秋は伊予の国です。
- 土橋 賢一君 トレーニング不足で大変なお遍路でしたが、無事帰ってこれホットしています。四国半分回りましたが、煩惱は消えないね。

今年度累計 389,420 円

